

創大スポーツ

2025年(令和7年)1月3日金曜日

第101回 箱根駅伝号外

【発行】創価大学企画広報課

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 TEL042-691-9422

6年連続シード権獲得

往路5位・復路11位 総合7位

来年こそ

創大の大車輪を

第101回東京箱根間往復 大学駅伝競走

1月2日8時、快晴無風・気温5℃の絶好のコンディションのなか、東京大手町・讀賣新聞本社前を出場20チームに関東学生連合を加えた選手たちが一斉にスタート。シード常連校となった創価大学駅伝部は榎木和貴監督、川嶋伸次総監督(昨年4月に就任)の体制の下、選手たちは夏合宿から自己記録を更新し続けていた。

今期のチームスローガンの「真価の創大はNext stage」はシード権に甘んじず3位以内、さらには総合優勝を目指そうという強い思い。そして本番、往路スタートでは後手を踏むも2区、3区で驚異的な追い上げをみせて往路5位でゴール。復路も各区分ともに堅実な走りで見事にゴール。目標には届かなかったが、総合7位で箱根を走り終えた。「創大の大車輪」の夢は引き継がれる。



往路

スタートから中央が飛び出す。1区藤田大空は序盤先頭集団で中央を走る。しかし中間地点でも第2集団と首位の差がなかなか縮まらず、注目2区争いに。齋藤は残り2区での集団のラストスパイトで遅れを取り、2区17位でエース区吉田賢に棒を託す。

吉田賢はスタートから驚異のハイペースで前を追い10区まで13位に浮上。さらに手を上げて19・5分では5位まで浮上。そして21・5分ではついに駒澤大も捕らえて4位に上がる。2区間2位・区間新記録を樹立した吉田賢は、3区区間新記録の快走で4区へ。

4区は昨年のリベンジに燃える野添悠真。しかし青山学院大の猛追に、13・2分まで3位に後退するも粘り、2位に青山学院大を捕らえて2位に上がり3位との差を広げていく。ムチ1区も区間2位の快走で4区へ。

復路

前回のチームと離れ、単独走という展開になったが、最終スタートを切った吉田賢は、復路も各区分ともに堅実な走りを見事にゴール。目標には届かなかったが、総合7位で箱根を走り終えた。「創大の大車輪」の夢は引き継がれる。

創大駅伝部は次なるステップに挑戦する。

第101回 箱根駅伝総合順位

1位	青山学院大学	10時間41分19秒
2位	駒澤大学	10時間44分07秒
3位	國學院大学	10時間50分47秒
4位	早稲田大学	10時間50分57秒
5位	中央大学	10時間52分49秒
6位	城西大学	10時間53分09秒
7位	創価大学	10時間53分35秒
8位	東京国際大学	10時間54分55秒
9位	東洋大学	10時間54分56秒
10位	帝京大学	10時間54分58秒

以上来年のシード校

11位	順天堂大学	10時間55分05秒
12位	日本体育大学	10時間56分22秒
13位	立教大学	10時間58分21秒
14位	中央学院大学	11時間00分13秒
15位	法政大学	11時間03分16秒
16位	神奈川大学	11時間07分28秒
17位	専修大学	11時間08分53秒
18位	山梨学院大学	11時間09分40秒
19位	大東文化大学	11時間10分38秒
20位	日本大学	11時間11分50秒



熱い応援、本当にありがとうございました

榎木和貴監督

お正月の2日3日、朝早くからの熱い応援をありがとうございました。総合7位でゴールした6年連続のシード権、4年連続の三天駅伝出場権を獲得することができました。来年は今年大会目標である、往路優勝、総合優勝は達成できませんでしたが、チーム一丸となって最後まで箱根路を駆け抜けることができました。

往路は、上位の4大学が素晴らしい走りをするなか、大

お正月の2日3日、朝早くからの熱い応援をありがとうございました。総合7位でゴールした6年連続のシード権、4年連続の三天駅伝出場権を獲得することができました。来年は今年大会目標である、往路優勝、総合優勝は達成できませんでしたが、チーム一丸となって最後まで箱根路を駆け抜けることができました。

往路は、上位の4大学が素晴らしい走りをするなか、大

見事6年連続シード権獲得

鈴木将史学長

往路5位、総合7位、そして6年連続でのシード権獲得。誠にありがとうございます。応援してくださった全国の皆様、心より感謝申し上げます。

厳しい練習と数々の試練を乗り越えて、一人ひとりが持つ力を最大限に発揮し、見事な走りを見せてくれました。出場した選手の方々の勇気と闘志は、創価大学の誇りであり、その頑張りには多くの人に感動を与えました。

2日間懸命にサポートにあ

選手への懸命な走りに感動

田代康則理事長

皆さんの姿に、深く感動しました。箱根路を駆け抜けた選手たち、控え選手や支えてくださったスタッフ、応援してくださった全ての方々の支えがあったからこそ6年連続シード権獲得という見事な結果を残すことができました。

卒業生をはじめ、全国並びに世界各地から数えきれないほどのご支援や応援をいただき、本当にありがとうございます。

【選手写真提供】©Getsuriku